

一部抜粋版



平成29年度 予算概要



上段 : 相模鉄道本線連続立体交差事業(星川駅~天王町駅)【平成30年度完成予定】

下段左 : 横浜環状北西線 シールドマシン

下段右 : 帰子川学校橋の浸水(平成28年台風9号)【平成29年度架替着手】

道 路 局

2 駅周辺への道路交通環境改善

(1) 道路改良【一部再掲】 16億7610万円 <16億7890万円> (19億2169万円)

市民生活やバス交通の利便性の向上を図るため、歩道設置や交差点改良によるボトルネックの解消等、市民生活に密着した道路改良事業を進めます。

- ・市道市場第42号線【元宮二丁目地区】(鶴見区)
- ・市道谷津第232号線(金沢区)
- ・県道横浜生田【新羽町地区】(港北区)
- ・市道北八朔南部第387号線【三保町地区(その2)】(緑区)
- ・県道阿久和鎌倉【萩丸交差点】(泉区)
- ・市道戸塚第420号線(戸塚区) (平成29年度完成予定)
- ・県道瀬谷柏尾【本郷その2地区】(瀬谷区)
- ・市道上瀬谷第368号線【瀬谷団地連絡道路】(瀬谷区) (平成29年度完成予定) など51箇所



県道阿久和鎌倉【萩丸交差点】(泉区)

当該道路を拡幅することにより、

- ・右折レーン設置による渋滞解消
 - ・歩道設置による歩行者の安全確保
- を図ります。

(2) バス交通施策

4億5223万円 (5億1315万円)

ア 地域交通サポート事業

2460万円 (2541万円)

新たなバス路線の導入及び再編の支援を進めます。

- ・境木地区(保土ヶ谷区)
- ・釜利谷地区、東朝比奈地区(金沢区) など

また、高齢者等移動支援バスモデル事業の実証運行を進めます。

- ・山下地区(緑区)
- ・都田、池辺地区(都筑区)

イ 生活交通バス路線の維持支援

4億2764万円 (4億8774万円)

バス路線の廃止による交通不便地域の発生等を回避し、市民の日常生活の利便性を確保するため、必要と認められる17路線に対し補助金を交付し、バス路線を維持します。

コラム⑮ 新たな試み：高齢者等移動支援バスモデル事業

バス事業者によるサービスが難しい地域において、住民が助け合い、移動手段を確保する新たな取組として、平成28年12月から緑区山下地区で実証運行を行っています。

地区住民による「山下地区安全・安心まちづくり協議会」が、横浜環状北西線建設関連企業から提供を受けた車両を使用して運行しています。協議会メンバーも自ら運転手となるなど、本格運行に結び付けよう頑張っています。



| | | | |
|---|-------------------------|---------------|--|
| 7 | (12款2項1目) 交通安全施設等整備費 | | <p>歩行者の安全と円滑な道路交通を確保するため、交通安全施設や安全で快適に移動できる歩行空間を整備します。</p> <p>1 交通安全施設等整備費 492,000千円 (312,511) • 歩道、防護柵、案内標識、道路照明灯等の施設の整備</p> <p>2 自転車駐車場等整備費 223,263千円 (225,000) • 市営自転車駐車場の整備等</p> <p>3 あんしんカラーベルト事業費 46,000千円 (45,000) • 通学路等における路側帯のカラー化</p> |
| | 本年度 | 千円 761,263 | |
| | 前年度 | 582,511 | |
| | 差引 | 178,752 | |
| | 国・県 支出金 | 0 | |

| | | | |
|----------------------------|------|---------|---|
| 本 年 度 の 財 源 | 使用料 | 209,063 | <p>誰もが安心・安全に利用できる交通体系を実現するため、バス交通施策を推進します。また、駅周辺の重点的かつ一体的なバリアフリー化を推進していくため、バリアフリー基本構想の策定を進めます。</p> <p>1 横浜市生活交通バス路線維持支援事業等 160,710千円 (159,246) • 生活交通バス路線の運行に関する補助金等</p> <p>2 地域交通サポート事業等 27,595千円 (25,405) • 地域交通サポート事業検討業務委託費、実証運行赤字補填費等 • 高齢者等移動支援バスモデル事業</p> <p>3 まちのバリアフリー化推進調査費等 14,819千円 (9,266) • 基本構想策定業務委託費等</p> |
| | 諸収入等 | 145,000 | |
| | 市債 | 0 | |
| | 一般財源 | 407,200 | |
| | | | |

| | | | |
|---|----------------------|---------------|---|
| 8 | (12款2項2目) 交通輸送対策費 | | <p>誰もが安心・安全に利用できる交通体系を実現するため、バス交通施策を推進します。また、駅周辺の重点的かつ一体的なバリアフリー化を推進していくため、バリアフリー基本構想の策定を進めます。</p> <p>1 横浜市生活交通バス路線維持支援事業等 160,710千円 (159,246) • 生活交通バス路線の運行に関する補助金等</p> <p>2 地域交通サポート事業等 27,595千円 (25,405) • 地域交通サポート事業検討業務委託費、実証運行赤字補填費等 • 高齢者等移動支援バスモデル事業</p> <p>3 まちのバリアフリー化推進調査費等 14,819千円 (9,266) • 基本構想策定業務委託費等</p> |
| | 本年度 | 千円 203,124 | |
| | 前年度 | 193,917 | |
| | 差引 | 9,207 | |
| | 国・県 支出金 | 2,750 | |

| | | | |
|----------------------------|------|---------|---|
| 本 年 度 の 財 源 | 使用料 | 0 | <p>誰もが安心・安全に利用できる交通体系を実現するため、バス交通施策を推進します。また、駅周辺の重点的かつ一体的なバリアフリー化を推進していくため、バリアフリー基本構想の策定を進めます。</p> <p>1 横浜市生活交通バス路線維持支援事業等 160,710千円 (159,246) • 生活交通バス路線の運行に関する補助金等</p> <p>2 地域交通サポート事業等 27,595千円 (25,405) • 地域交通サポート事業検討業務委託費、実証運行赤字補填費等 • 高齢者等移動支援バスモデル事業</p> <p>3 まちのバリアフリー化推進調査費等 14,819千円 (9,266) • 基本構想策定業務委託費等</p> |
| | 諸収入等 | 0 | |
| | 市債 | 0 | |
| | 一般財源 | 200,374 | |
| | | | |

| | | | |
|--------|------------------|-----------------|---|
| 15 | (17款) 特別会計繰出金 | | 自動車駐車場事業費会計、公共事業用地費会計及び生活交通バス路線維持支援事業に繰り出します。 |
| | 本年度 | 千円 1,260,824 | |
| 前年度 | | 1,407,534 | <u>1 自動車駐車場事業費会計繰出金</u> 546,363千円 (603,988) ・自動車駐車場事業費会計への繰出金 |
| 差引 | | ▲ 146,710 | <u>2 公共事業用地費会計繰出金</u> 447,533千円 (475,049) ・都市開発資金の償還のための公共事業用地費会計への繰出金 |
| 本年度の財源 | 国・県支出金 | 0 | <u>3 横浜市生活交通バス路線維持支援事業</u> 266,928千円 (328,497) ・自動車事業会計への繰出金 |
| | 使用料 | 0 | |
| | 諸収入等 | 0 | |
| | 市債 | 0 | |
| | 一般財源 | 1,260,824 | |

| | | | |
|--------|-----------------------|-----------------|--|
| 16 | (特別会計) 自動車駐車場事業費会計 | | 安全で円滑な道路交通の確保のため、路上駐車対策として、6箇所の市営地下駐車場の管理運営を行います。 |
| | 本年度 | 千円 1,049,843 | |
| 前年度 | | 1,206,688 | <u>1 自動車駐車場運営費</u> 502,480千円 (601,700) 四輪 二輪 184台 200台 |
| 差引 | | ▲ 156,845 | ・福富町西公園地下駐車場 200台 25台 ・ポートサイド地下駐車場 193台 26台 ・馬車道地下駐車場 200台 ・山下町地下駐車場 200台 ・日本大通り地下駐車場 200台 ・伊勢佐木長者町地下駐車場 200台 |
| 本年度の財源 | 国・県支出金 | 47,850 | <u>2 公債費</u> 546,363千円 (603,988) |
| | 使用料 | 376,539 | <u>3 予備費</u> 1,000千円 (1,000) |
| | 諸収入等 | 79,091 | |
| | 市債 | 0 | |
| | 一般会計 繰入金 | 546,363 | |